

校舎等の消毒について

□アルコール消毒薬を使用する場合□

＜基本的な考え方＞

- アルコール清拭による高頻度接触面や物品の消毒を励行する。

(具体例)

- ・消毒場所：手すり、ドアノブ、電気のスイッチ、机、椅子、水道の蛇口、トイレなど
 - ※ よく手の触れる場所を念入りに行う。
 - ※ 作業人数が多い場合などは、壁など広い範囲の消毒を行う。
- ・消毒方法：アルコール消毒薬を浸したペーパータオルや使い捨て布で拭き取る。
 - ※ 室内での噴霧は健康被害につながるため行わない。

- 廃棄物の処理、リネン類、衣類等の洗濯は通常通りで良い。

新型コロナウイルスの残存期間は現時点では不明ですが、インフルエンザウイルスに比較して環境中に長く残存する可能性があります。(20度程度の室温におけるプラスチック上で、SARS-CoVでは6~9日、MARS-CoVは48時間以上との研究があります)

□アルコール消毒薬がない場合□

アルコール消毒薬がない場合は、次亜塩素酸ナトリウム（塩素系消毒薬 例：ハイターやブリーチ等）も有効です。

ただし、アルコール消毒薬とは違い、取扱いに注意が必要です。注意事項をよくお読みください。

－次亜塩素酸消毒液の使い方－

消毒液は、用途に合った濃度のものを用います。塩素系消毒薬を希釈して作りますが、家庭用の次亜塩素酸ナトリウムを含む塩素系漂白剤でも代用できます。

濃度		0.1%(1000ppm) 以上	0.02%(200ppm) 以上
用途		トイレ、汚染物がついた場所・物・衣類など	厨房内、日常的な清掃（ドアノブ・蛇口）、食器、器具など
希釈方法	500ml 作るとき	原液 10ml を水で 500ml に希釈	原液 2.5ml を水で 500ml に希釈
	2ℓ 作るとき	原液 40ml を水で 2ℓ に希釈	原液 10ml を水で 2ℓ に希釈

※原液の次亜塩素酸ナトリウム濃度が6%（例：ピューラックス）の場合

－使用時の注意事項－

- ① 製品の「使用上の注意」を必ず確認してから使用してください。
- ② 手荒れの原因になるので、手指消毒には使用しないでください。
- ③ 十分に換気をしながら消毒してください。
- ④ 他の洗剤と混ぜないでください。（酸性洗剤と混合すると有毒な塩素ガスが発生します。）
- ⑤ 金属腐食性があるため、消毒後は洗い流すか、水拭きしてください。
- ⑥ 希釈した消毒液はなるべく早く使用するようにしましょう。
- ⑦ 保管する場合は、誤って飲むことが無いように消毒液であることを明記して、冷暗所、もしくは遮光性のある容器で保管してください。

参考：ノロウイルスによる感染症・食中毒を予防しましょう（北海道版リーフレット）

◆ 消毒をする場合には、手袋とマスクを着用してください。